

昨夜は PTA 運営委員会がありました。是法祭りや愛校作業の反省をし、えのきまつりについて話し合いました。皆さん大江の子どもたちのために真剣に話し合ってください。ありがとうございます。PTA 会費未納のところ  
が例年より多く困ってらしたので、もし忘れてらっしゃる家庭がありましたらお早めにお願いますね、



# 大江の風

9月10日

44

今朝お会いした地域の皆さんの一部の方々です。皆さん笑顔が素敵です。



## たくさんの方々

### に見守られ・・・

今朝は、朝の交通指導で、主に学校の北側をまわりました。30分歩く間に、交通指導やあいさつ運動で立ってくださっている地域や保護者の方々に、何人お会いしたことでしょう。ざっと数えて30人。校区の半分ですよ・・・すごい数です。多くの大人たちが、



子どもたちを見守ってくださっています。本当にありがとうございます。大江校区には、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校と教育施設がたくさんあります。みんなが安心できる地域をつくってくださっている皆さんに感謝して、子どもたち自身も地域のために何かができればなぁと思っています。多くの子どもたちが、自分が生まれ育った大江がふるさと＝郷土となり、その後の人生を送る上で心のよりどころとなることだと思えます。地域の人々や生活、伝統、文化に親しみ、それを大切にすることを通して、郷土を愛することについて考えさせ、地域に積極的に関わろうとする態度を育てたいです。9月21日は「えのきまつり」ですね。私も初めての参加。どんなお祭りでしょう。大江の文化、楽しみたいと思います。

## シュライヒャー局長と共に考えるEducation2030に行ってきた

9月6日、国際機関OECDのアンドレアス・シュライヒャー教育スキル局長が来熊され、講演会がありました。シュライヒャー局長は、「不確実な中目的をもって進んでいくためには、生徒は好奇心や想像性、強靭さ、自己調整といった力をつけさせるとともに、他者のアイディアや見方、価値観を尊重したり、その価値を認めることが求められる。また失敗や否定されることに対処したり、逆境に立ち向かって前に進んでいかなければならない。単に自分がよい仕事や高い収入を得るということだけではなく、友達や家族、コミュニティや地球全体のウェルビーイングのことを考えなければならない」と。OECDは、世界が大きく変わっていくだろう2030年という時代を生きていくために、子どもたちに求められる力を「エージェンシー」とよんでいます。「エージェンシー」とは、「自ら考え主体的に行動し、多様な人々と協働しながら持続可能な社会へと責任をもって変革していく力」のことです。そのエージェンシーの発揮を可能にするために「学びも羅針盤」というものが示されました。パネルディスカッションではこの「責任ある行動をとる力」と「対立やジレンマを克服する力」が大事だという話になりました。シュライヒャー局長も、どんなにAIが進歩しても「人間力」がないとだめだと、「人間力」を強調されました。「対立やジレンマを克服する力」「責任ある行動をとる力」「人間力」・・・まさに本校の教育目標・研究のめざすところではないですか。大江の研究は、2030年を見通して進めているといっても過言ではない。自信をもって特別活動と道徳が響きあう研究を進めていきます。

